

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY

第1616回例会 令和5年4月27日(木)

【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんばんは。能がらみのお話をさせていただきます。ただ昔話ではなく、現在でもその考え方は通じるという事で、了解をして頂きたいと思えます。



650年以上続いている能は、世界に冠たる「老舗」です。その根底にあり、流儀は違っても能楽師が大切に思っている思想が、世阿弥が説いた「衆人愛敬（しゅうにんあいぎょう）」です。この思想を根付かせたのも、世阿弥の功績です。

（この意味は）能に通じた人に面白いのは当然として、知らない人にも面白い芸が大事だ、と言うのです。「わかる人にわかればいい」というのではなく、どんな人にも愛される芸、それを目指し、様々な芸風を打ち出し「多角化」していきます。

これを世阿弥は、別のところでは「目利き」と「目利かず」という言葉を使いながら説明しています。芸はうまければよいというものではない。うまい役者は目利きの目には適いますが、目利かずにはその芸のよさがわからないから、その目に適わない。しかし、それ以上にうまい役者ならば、目利かずの目にも「面白い」と思うような演じ方ができるはずだということです。

（プロ相手と素人相手という事がありますが、両方に効かないとダメだという事です。）

世阿弥の時代には、客の顔ぶれを見て、演じる直前に演目を変えることもあったそうです。それこそ現代の寄席のようです。（真打ちの寄席は入口に出演者は書いてありますが、演目は書いていない。演目はその日にお客さんを見て決めるのが、実際の寄席のようです。それと同じ様に能もやっていたという事です。）今の能は、演目と演者が事前に決まっているので、簡単に演目を変えられませんが、しかし可能な範囲でやってみると面白いのではないかと考えることがあります。（安田さんの意見ですが、私もそういう事が出来れば、理想なのかなと思います。）その場で、相手を見てやる「衆人愛敬」は、演者の成長にとっても大事です。

思想も現代にも通じるし、理想なのではないかと思って、紹介させて頂きました。

【幹事報告】

山田 利明



1. 地区事務所より
 - ①地区運営に関わる重大なお知らせ {村田ガバナー解任の要求}
 - ②留学説明会のお知らせ
 - ③月信
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま

ニコニコボックス

♪妻（志げ子）の誕生日の花束、ありがとうございました。1つ年上となりますが、もう50年以上の付き合いとなります。

山田 利明

合計 2,000 円



山田会員 奥様 志げ子さん

お誕生日おめでとうございます

出席率 100%



謡曲 熊野 畝 徳治会長

ロンギ 「河原面を過行けば。急ぐ心の程もなく。車大路や六波羅の。地藏堂よとふし拝む
 シテ 「観音も同座あり。闍提救世の。方便あらたに足乳?を護り給へや
 地 「げにや守の末直に。頼む命は志ら玉の。愛宕の寺もうち過ぎぬ。六道の辻とかや
 シテ 「げに怖ろしや此の途は。冥途に通ふなるものを。心ぼそ・鳥辺山
 地 「煙の末も薄霞む。声も旅雁の横たはる
 シテ 「北斗の星の曇なき
 地 「御法の華も開くなる
 シテ 「経書堂はこれかとよ
 地 「その足乳?を尋ぬなる。子安の塔をすぎ行けば
 シテ 「春の隙ゆく駒の道
 地 「はや程もなくこれぞ此の
 シテ 「車宿
 地 「馬留。こゝより花車。おりみの衣はりま湯飾磨のち路きよ水の。仏の御前に。念誦志て
 母の祈誓を申さん



南須原 宏城会員

今日は皆さんの趣味のお話を聞いて、私は52才ですが仕事ばかりで、皆さんがうらやましいと思います。敢えて言えば趣味は走る事です。40才でフルマラソンを走るという目標を持ち、39才の時に1年を掛けてやろうと。この仕事をしていると、地方に行ってもマラソンをする事が出来ないと。東京だったら戻ってこられるとい事で、東京マラソンに絞りました。抽選で40才の時に申し込んだ時には当たりませんでした。どうしても40才の時に走りたいという事で、チャリティーランナーという事で10万円以上寄付すると走らせてあげるよという事で、10万円を払いました。参加費は1万円なので10倍でしたが、走りました。初マラソンで4時間半くらいでゴールしました。

それから体重も今よりも重かったので、健康管理という事でずっと続けてきて、今年52才から一廻りしました。今回はコロナ明けで何とかやろうという事で、40才の時の記録は4時間半でした。4時間を切るという事はなかなか難しく、市民ランナーの上位20%くらいが4時間を切れるという事で、それを目標に練習しました。何とか足を持ちこたえて完走する事が出来ました。

自分が医者として患者さんをみていると、だんだん足腰が悪くなり、昔と同じ様に動けない。そのギャップに堪えられないという方が結構いらっしゃいます。そうならないようにするためには今から準備をするのが良いかなと。歩く事も大事ですが、やはり筋トレが良いのではないかなと。ご自分で出来ますし、自分の体重を使ってスクワットとよく言いますが、言うのは簡単ですが、継続する事は難しいです。何事もそうですが、毎日10回、なるべくゆっくりと腰を落としてやる事が大事です。継続する事で、年を取って歩いて出かけられたら楽しいじゃないですが、毎日の積み重ねです。生活する中で楽しく過ごすために身体をしっかりと。とにかく筋肉をしっかりとという事です。